

第1章 トピックス —「農」をめぐる最近の情勢—

- 最近の「農」をめぐる主なトピックスを掲載
【コロナ】① コロナに負けるな！頑張るひょうごの農林水産業
【農業】② 未来につなぐ地域農業の文化・伝統・ストーリー！
③ みんなで耕そう！農福連携の拡大
④ 楽農生活のさらなる拡大に向けた体験施設のリニューアル
⑤ 就農支援と農地の有効活用に新展開
⑥ “おいしい食材の宝庫ひょうご”を再発見！
⑦ カーボンニュートラルの実現に向けたバイオマス利活用の推進
⑧ ウメ輪紋病との闘いが終結
⑨ 進む、ひょうご農林水産業のスマート化！
【農山漁村】⑩ 農業・農村の強靱化
【畜産】⑪ ついにカラを破って海外進出、ひょうごの鶏卵！
【林業】⑫ みんなで育て、使って、知ろう！ひょうごの木
【水産業】⑬ 豊かな海を後世に！つくり育てる漁業の推進
【研究】⑭ ひょうごの未来、技術が先導！
【顕彰】⑮ ひょうごの「農」の元気な活動（表彰事例の紹介）

第2章 ひょうごの農林水産施策の取組

第1節 総括

1 総括的指標による評価・検証

「ひょうご農林水産ビジョン 2025」全体の活動成果である農業産出額、林業・木材産業産出額、漁業産出額の3つの総括的な指標は、2013年以降、概ね2020年目標値（中間）を達成。

Table with 7 columns: Item, Start (2013), Actual (2019), Change (2019-2013), Target (2020), Target (2025), Change (2025-2020). Rows include Agriculture, Forestry, and Fisheries production values.

2 成果指標の点検・評価

(1) 概要

現時点で評価データのある成果指標47項目（全55項目）の結果について、年度目標を達成「◎：100%以上」又は概ね達成「○：90%以上」している項目は、26項目/47項目（55%）に減少。（昨年度：68%）

(2) 基本方向ごとの点検・評価

県産木材の利用促進を図る「基本方向2」や「基本方向4」は、概ね目標を達成。「基本方向1」では24%（天候不順によるブランド米の生産量の減少等）、「基本方向6」では33%（新型コロナウイルスによる交流人口の減少等）と低く、ICT技術の導入・活用や、栄養塩供給の促進等のさらなる推進が必要。

Table with 7 columns: Direction/Target Rate, Status (◎, ○, △, ▲), Number of Items, Achievement Rate. Rows include Basic Directions 1-6 and Overall Policy Results.

凡例：達成率100%以上◎ 90~100%○ 80~90%△ 80%未満▲ ※達成割合：90%以上の割合

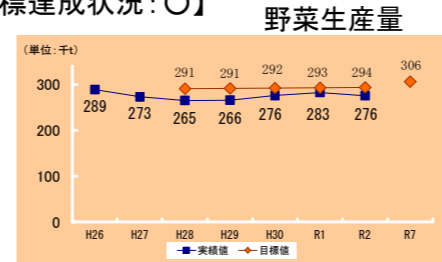
第2章 ひょうごの農林水産施策の取組

第2節 施策の取組状況—施策の目標と評価—

基本方向1 需要に応える農業の競争力強化と持続的発展

施策1 野菜等園芸作物の生産拡大【目標達成状況：○】

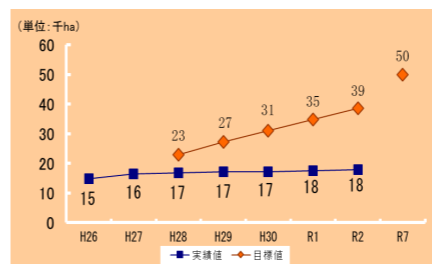
野菜生産量は、施設野菜の先進技術の導入や、露地野菜の機械化による省力化が進んだこと等により、目標値を概ね達成。
今後とも機械化や共同利用施設の再編などにより省力化を図り、生産拡大を支援。



施策4 農地の集積・集約化と農業用水の確保【目標達成状況：▲】

担い手が利用する農用地面積は、貸手の農地と借手の農地のミスマッチや、担い手が草刈りや水管理の作業負担を危惧していること等により、目標値は未達成。
今後は、担い手の規模拡大に寄与する一団の貸出可能農地の創出や地域での話し合いを通じた「いきいき農地バンク方式」の活用を推進。

担い手が利用する農用地面積



施策5 多様な担い手の確保育成

(法人経営体数)【目標達成状況：○】

法人経営体数は、専門家の派遣等の支援などにより、法人化が順調に進み、概ね目標を達成。
今後とも公益社団法人ひょうご農林機構と連携し、専門家派遣やセミナー等により法人化を促進。

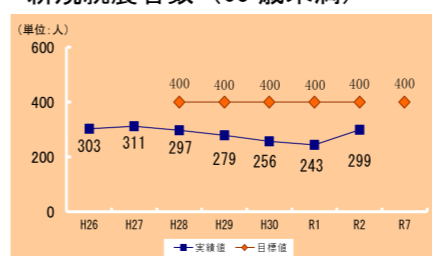
法人経営体数



(新規就農者数)【目標達成状況：▲】

新規就農者数は、他産業との人材の引き合いが続く中、独立就農者数が大きく増加（対前年比+57人）したが、目標人数は未達成。
今後は、地域就農・定着応援プランを活用した地域の受入体制充実や雇用環境の整備、就農相談等の就農支援を一層推進。

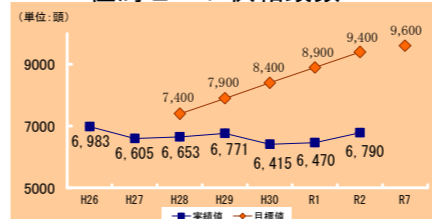
新規就農者数（65歳未満）



施策6 畜産物のブランド力と生産力の強化【目標達成状況：▲】

但馬ビーフ供給頭数は、目標を下回ったものの、近年の但馬牛繁殖雌牛の増頭に連動し320頭増加。
今後とも、乳用牛等への但馬牛受精卵移植等により、肥育素牛の生産拡大の取組を推進。

但馬ビーフ供給頭数

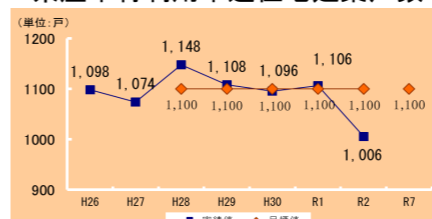


基本方向2 木材の有効利用と森林の保全・再生

施策8 新たな需要開拓による県産木材の利用促進【目標達成状況：○】

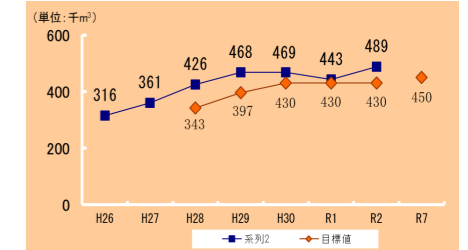
県産木材利用木造住宅建築戸数は、コロナ禍の影響により住宅着工戸数が減少し、目標戸数は未達成。
今後は、公共・民間施設等の木造・木質化の推進等により、さらなる県産木材の利用を促進。

県産木材利用木造住宅建築戸数



施策9 林業の収益性向上【目標達成状況：◎】 県内年間素材生産量

県内年間素材生産量は、燃料用木材需要の増加により、目標値を達成。
今後とも、原木供給の収益性向上のため、高性能林業機械の導入等を促進し、原木の低コストかつ安定的な生産体制の整備を推進。

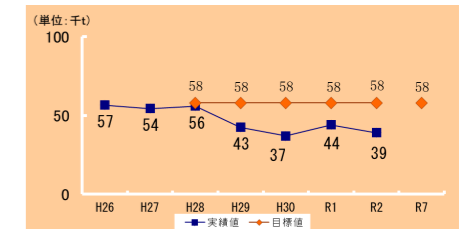


基本方向3 豊かな海の再生と水産業・浜の活性化 漁船漁業生産量

施策11 水産資源の増殖・適正管理

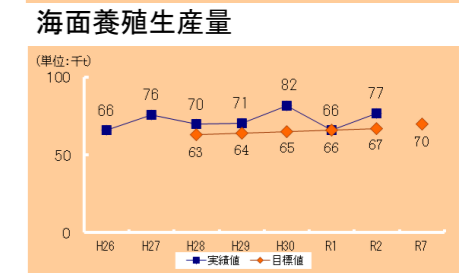
(漁船漁業生産量)【目標達成状況：▲】

漁船漁業生産量は、シラスの漁獲量が増加したものの、主要魚種のイカナゴの漁獲量が過去最低レベルとなり、目標値は未達成。



(海面養殖生産量)【目標達成状況：◎】

海面養殖生産量は、本県海面養殖生産量の大部分を占めるノリ養殖が順調に推移したため、目標値を達成。
今後は、窒素など栄養塩供給の促進や漁場の整備等を通じ、水産資源の増殖と適正な管理の取組を推進。

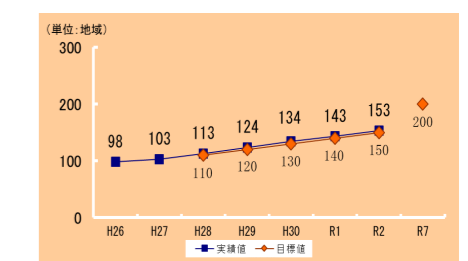


基本方向4 新たな価値創出による需要の開拓

施策14 新たな需要や市場の積極的な開拓【目標達成状況：◎】

海外市場開拓数は、海外での現地一般消費者向けテスト販売や営業代行に加え、日本食ブーム等が追風となり、目標を達成。
今後とも、シンガポールをはじめ各地での大規模展示商談会への出展や現地シェフ、バイヤー等を対象とした効果的なプロモーション等により輸出促進を推進。

海外市場開拓数(品目ごとの累計)

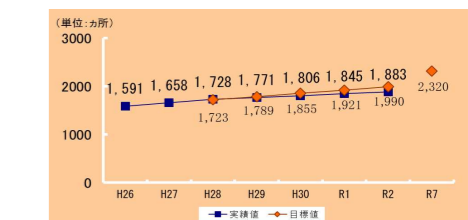


基本方向5 活力ある農村（むら）づくりの推進

施策18 農村の防災・減災対策の推進【目標達成状況：○】

ため池整備により安全が確保された地区数は、計画的な事業の執行により、概ね目標を達成。
引き続き、定期点検と耐震調査の結果を踏まえ、「防災工事等推進計画」に基づき改修整備・廃止を推進。

ため池整備により安全が確保された地区数



基本方向6 食と「農」に親しむ楽農生活の推進

施策20 「農」への積極的な関わりの推進【目標達成状況：△】

兵庫楽農生活センター体験者数は、新型コロナウイルス感染症の影響で伸び悩み、目標は未達成。
今後は、リニューアルした施設等を活用し、体験メニューを充実させるなど、施設全体の魅力アップの取組を推進。

兵庫楽農生活センター体験者数

